

# HEART NEWS

2021年5月1日発行

Vol. 48

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



緊急事態宣言が発令され、いまだ先のみえないコロナですが、地域医療機関の方々は、いかがお過ごしでしょうか。本年度の集合写真も昨年度と同様のZoomでの撮影となりました。循環器内科、心臓血管外科とも新しいレジデント、専攻医も加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりました。ハートラインを受け入れながら、COVID-19に負けない市総合を目指して、これまで同様、地域医療機関との連携強化に努めたいと思っております。今年度もご支援よろしく申し上げます。



大阪市立総合医療センター  
循環器センター長  
循環器内科部長 成子 隆彦

# 循環器内科のご紹介

循環器内科は、今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

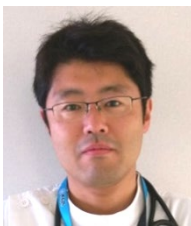
1. 弁膜症に対するカテーテル治療：大動脈弁狭窄に対し、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を2016年4月から開始し、2021年3月で259例に到達しました。本年度は、コロナの影響で、遅れている僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁クリップ術 (Mitral Clip) の開始を予定しています。
2. 閉塞性肥大型心筋症のカテーテル治療：閉塞性肥大型心筋症は、肥大大心筋を栄養している中隔枝にバルーンカテーテルを通して選択的に高濃度エタノールを注入、心筋に凝固壊死を起こすことで左室流出路狭窄を解除し、圧較差が改善する経皮的な中隔心筋焼灼術 (PTSMA) を2018年から13例を施行し、良好な成績を取っています。
3. 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後、疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし糖尿病内科、腎臓高血圧内科、総合診療科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して治療に努めてまいります。
4. 不整脈治療：デバイス治療に関しましては年間150前後施行しています。心室ペースングを必要とする患者様の10-20%で心機能が低下する(ペースング誘発性心筋症)ことが知られています。このペースング誘発性心筋症の発生率軽減を目指して、当院では、より生理的なHis束ペースングや左脚ペースングを積極的に行っております。2020年9月から左心耳閉鎖システム (WATCHMAN) を用いたカテーテル治療を開始しています。
5. 脳梗塞の原因として5-10%を占める潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔閉鎖術の開始を予定しています。
6. 心不全パスの充実：超高齢化に伴い、近年増加している心不全患者の再入院を減らすことを目的として、定期的に開催しています「大阪心不全地域医療連携の会」を通じて、心不全患者の管理を、医療機関から地域全体切れ目のない治療体制を本年度も発展させていきたいと思ひます。



副部長  
阿部 幸雄



副部長  
松村 嘉起



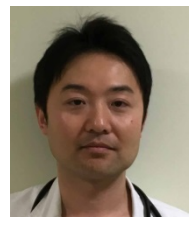
副部長  
松本 亮



医長  
占野 賢司



医長  
仲川 将志



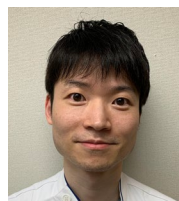
医長  
齋藤 聡男



医長  
林 雄介



レジデント  
田村 尚大



レジデント  
藤澤 直輝



レジデント  
野村 菜々香



専攻医  
樋口 功太郎



専攻医  
吉井 大智



専攻医  
岡田 卓也

## 循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
			田村(ペースメーカー)		
午後	阿部	松村			成子
	占野 (ペースメーカー)				林

### 地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林 (不整脈)
午後		齋藤 (末梢動脈)	占野 (不整脈)	仲川 (肥大型心筋症)	松本 (TAVI)

# 心臓血管外科のご紹介

2020年は、コロナパンデミックという未曾有の危機の中、当院の使命としてコロナ診療に従事してきましたが、その中でも先進的な医療の推進を続けまいりました。

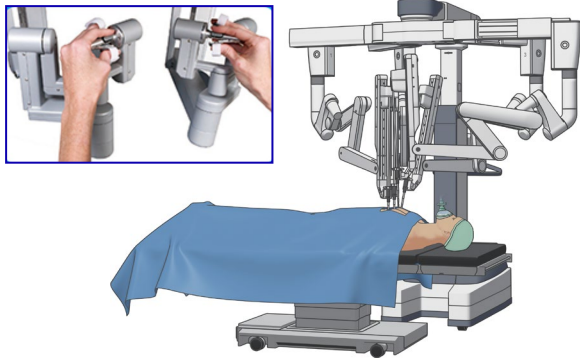


部長 村上貴志

- 1) 低侵襲心臓手術 (Minimally Invasive Cardiac Surgery: MICS **ミックス**) を行っています。小切開から内視鏡下に弁膜症手術や冠動脈バイパス術を行います。
- 2) **ロボット**支援下心臓手術を行います。(弁形成術・冠動脈バイパス術)
- 3) 大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 (**TAVI**)
- 4) **ステントグラフト**による大動脈瘤や大動脈解離のカテーテル治療
- 5) **下肢静脈瘤**に対する**レーザー治療**を行います。また足の皮膚潰瘍(下肢虚血・**静脈鬱滞性皮膚潰瘍**など)に対する治療や、リンパ浮腫や動静脈奇形による下肢の腫脹に対する治療を行います。
- 6) **内臓動脈瘤**に対するコイル塞栓術など、**血管内治療**に注力しています。

現在コロナ診療のため救急受け入れに制限がありますが、【大動脈センター】では、可能なかぎり急性大動脈解離や大動脈瘤破裂に対する緊急手術の受け入れを行いたいと思います。

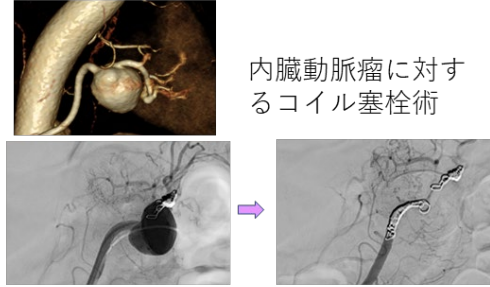
## ロボット支援下心臓手術



## ステントグラフト



## 内臓動脈瘤に対するコイル塞栓術



内臓動脈瘤に対するコイル塞栓術



副部長  
青山 孝信



副部長  
阪口 正則



医長  
尾藤 康行



シニアレジデント  
桐谷 ゆり子



シニアレジデント  
角谷 明洋



専攻医  
土井 正太郎

## 心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	【下肢静脈瘤外来】 青山	尾藤
午後	青山	【ロボット手術外来】 村上	阪口		尾藤

# 今号の循環器日記 - 日循参加記 - 循環器内科 阿部幸雄

3月26-28日に、第85回日本循環器学会学術集会在現地横浜とWEBでのハイブリッド形式で開催されました。シンポジウムやランチョンセミナーでの発表をご依頼いただきおり可能ならば現地での推めがあったため、久しぶりに新幹線に乗って現地参加してきました。折しも桜が綺麗に咲いており、コロナ禍で大変な世の中とは裏腹に春爛漫で平和な雰囲気でした(写真左上)。しかし、さすがに現地参加者が非常に少なく、縮小したはずの会場(昨年新築されたパシフィコ横浜ノース[写真右上]という建物1棟のみ)のそれぞれの部屋に数名の聴衆しかいませんでした(写真左中)。寂しいことに機器展示場もガラガラです(写真右中)。代わりにバーチャル展示があったのをご存知でしょうか(写真左下)? さてランチョンセミナーでの発表は、ゆみのハートクリニックの弓野先生とご一緒させていただき、高齢者の弁膜症について議論しました(写真右下)。非常に有意義な時間を過ごすことができました。しかし、同セミナーにおいても会場には10名程度の聴講者しかいませんでした。WEBでは200名強が聴講していたことを後に知ってほっと胸をなでおろしましたが、やはりもっと多くの参加者が現地に集合して対面での議論ができる学会開催が可能になることを心待ちにしております。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようにするため、循環器センター直通電話(ハートライン)を設置しております。

ハートライン(循環器センター直通電話)

06-7662-7979

その他の場合は御面倒ですが 06-6929-1221(病院代表)から呼び出して下さい。